

【疲労の科学と過労対策】

～あなたの健康維持と増進のために～

半年以上持続する疲労(慢性疲労)で苦しんでいる人達が国民の40%近く存在するにも関わらず、これまで、「疲労」に対する本格的な医学・科学の取組は少なかった。慢性疲労は、日常生活における様々なストレスの延長線上にあり、未病の最たるもので先制医療の大きな対象でもある。疲労は睡眠障害と相互関連が深く、糖尿病をはじめ生活習慣病やうつ病の発症や慢性疾患からの心血管イベントとも大いに関係する。この講演では、最近解明されてきた疲労の分子神経メカニズムについて解説し、現代高齢少子化社会に対し、「抗疲労」、すなわち、よりよい疲労回復法や過労予防法について我々が取り組んでいる「健康科学イノベーション」の立場からいくつかの試みについてお話をしたい。

わた なべ やす よし
講師 渡辺 恭良 氏

(理化学研究所・ライフサイエンス技術基盤研究センター センター長)
(大阪市立大学健康科学イノベーションセンター 所長)
(大阪市立大学大学院医学研究科・システム神経科学 特任教授)

講師紹介

- 1976年 京都大学医学部卒
 - 1980年 京都大学大学院博士課程修了(医学博士)
 - 1981年 京都大学放射性同位元素総合センター・助手
 - 1984年 大阪医科大学・講師
 - 1987年～2001年 大阪バイオサイエンス研究所・研究部長
 - 1999年～2007年 大阪市立大学大学院医学研究科・教授
 - 2007年～現在 同上・特任教授
 - 2006年～2008年 独立行政法人理化学研究所分子イメージング研究プログラム・プログラムディレクター
 - 2008年～2013年 独立行政法人理化学研究所分子イメージング科学研究センター・センター長
 - 2013年～現在 独立行政法人理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター・センター長
 - 1999年～2006年 文部科学省科学技術振興調整費による疲労研究班・研究代表者
 - 2006年～2010年 文部科学省21世紀COEプログラム「疲労克服研究教育拠点の形成」拠点リーダー
 - 2005年～2011年 日本疲労学会理事
 - 2011年～現在 日本疲労学会理事長
- ベルツ賞、文部科学大臣表彰科学技術賞など受賞

著書 英語原著論文380報 英文総説80報以上
『Fatigue Science for Human Health(Springer)』
『脳と疲労』(共立出版) 『抗疲労食』(丸善出版)など

甲南大学総合研究所では、下記のとおり定例の公開講演会を開催致しますのでぜひご来場下さい。

❖ **日時** ❖ 平成25年12月14日(土) 13:30～15:00

❖ **場所** ❖ 甲南大学 132講義室

先着200様

★会場までの交通手段★

阪急神戸線岡本駅、またはJR神戸線摂津本山駅より北西徒歩10分。なお、駐車場設備はございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。

甲南大学総合研究所

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1
電話 (078) 435-2331 (直通)
FAX (078) 435-2324
e-mail: souken@center.konan-u.ac.jp

参加申込み不要

入場無料

